

# 地域スポーツフェスタ 報告

## \* 厚狭地域連絡協議会 \*

スポーツフェスタ in 厚狭

「薬草ウォーク～薬草を学ぶ 薬草で学ぶ～」

期日：平成30年11月11日(日) 場所：江汐公園

「スポーツ環境の多様な『場』の創出」することを目的として、4月に連絡協議会を立ち上げ、実行委員会を重ねて、本番を迎えました。

折しも、山陽小野田市立山口東京理科大学に薬学部が新設され、江汐公園に薬用植物園が設置されました。大学の地域貢献と大学のノウハウを取り入れたいとの思いが重なり、自然にある薬用植物を見つけながら歩くという企画「薬草ウォーク」が実現しました。



江汐公園にある薬用植物を探すことに加え、大学の先生による、「薬草の不思議」の講義や「座位中心のリズム体操」の実技がありました。ウォークの後には、江汐公園でとれた山菜の天ぷら試食、薬草茶の試飲コーナーが設け

られ、160名の参加者のみなさんが、さわやかな秋の一日を満喫することができました。

## \* 周防エリア \*

周防エリア地域スポーツフェスタ

期日：平成30年11月23日(金)

場所：下松スポーツ公園

下松市で活動しているNPO法人絆星スポーツクラブが主管となり、周防エリアの8クラブで『トッパ



スリート陸上教室&ミニトランポリン』を実施しました。ミニトランポリンは、老若男女だれでも実施でき、歩いたり跳んだりするだけで高い運動効果があり、どの競技にも必要な体幹を鍛えることにもよいと言われています。普段ミニトランポ



リンをしていない人にとっては、少し歩くだけでもきついと感じられたようです。音楽に合わせて歩いたり跳んだり、バランスをとったりして、子どもたちは「疲れた～」と言葉を発していました。陸上教室では、長門市出身の油谷繁氏(現 中国電力陸上競技部アドバイザー)を講師

として招き、教室が行われました。この時期は、小学校で持久走大会が近いことから、速く走るために走り方を習いたい子どもたちが多く参加していました。ストレッチなどで体をほぐした後、腿上げやラダートレーニングで体の動かし方などを習い、最後は鬼ごっこをして、楽しく体を動かしていました。

山口県生涯スポーツ推進センターだより

わくわく(輪く和く)通信



Vol.25

2018年

12月

## 研修会情報

- \*スポーツリーダー養成講習会  
期日：平成31年1月12日(土)・13日(日)  
場所：カリエンテ山口(山口市)
- \*創設・育成研修会  
(兼：スロージョギングアドバンス養成講習会)  
期日：平成31年2月1日(金)  
場所：カリエンテ山口(山口市)

# 中国ブロッククラブネットワークアクション2018



期日：11月24日(土)・25日(日)

場所：島根県出雲市 ニューウェルシティ出雲

クラブ関係者やアドバイザー、実行委員など約85名が参加し、2日間にわたり中国ブロッククラブネットワークアクション2018が島根県出雲市で開催されました。この研修会は、年に1回全国9ブロックごとに行われています。

1日目は、まず「障害者へのスポーツ活動アプローチ」として4名のパネリストから、障がい者との交流事業や教室内容、用具の工夫などの話がありました。

その後、「苦境のまちからの挑戦～次世代が活躍できる環境づくり」として、島根県江津市で創業支援や産業人材の育成、商店街の活性化事業や飲食店の経営等の事業を行っている「NPO法人てごねっと石見」についての話を聞きました。様々な事業を通して、若者が少なく、人通りも減っている町に少しずつ人が増え、地域が明るくなってきているそうです。最後に、「スポーツを軸としたまちづくり～北広島町～」として、スポーツをとおした地域づくりに力を入れている北広島町の話があり、その中で、どんぐり北広島ソフトテニスクラブの話がありました。このクラブは、平成15年から休日に北広島町の豊平どんぐり村をホームコートとして練習を行っていました。監督である中本氏は、全国各地から集まり頑張っている選手に、最高の環境を提供し、競技に集中させてあげたいと考え続けた結果たどり着いた形が地域密着のクラブ化構想だったそうです。そして、どんぐり村関係者との強い絆や周辺の地域住民の協力、北広島町の支援体制があり、平成28年3月に北広島町に活動の拠点を完全に移すこととなりました。クラブの知名度向上を図るため、選手たちは、地域行事や住民との積極的な関わりを図り、今では地域住民に支援をいただき、スポーツを通じた地域の活性化が実現し、地域密着型のクラブチームとして発展しているとのことでした。

2日目は、「魅力ある教育を通じた活力ある地域づくり」として、島根県教育魅力化特命官である岩本悠氏から話がありました。岩本氏は、東京での東京の大手企業を退職し、平成18年12月に島根県海士町へ移り住み、「島根県立隠岐島前高校の魅力化プロジェクト」など学校を核とした地域創生を目指し活動されています。島前高校は廃校寸前に陥っていましたが、高校生がまちづくりに挑戦するプロジェクト学習や全国から意志ある多彩な生徒を募集する地方留学など、島外から生徒を受け入れ、豊かな自然の中で高水準の授業が受けられると評判が広がり、都会から島にやってくる留学生は増えていきました。このような地域と学校の協働による新たな地域教育に取り組むことにより、島前高校と島前地域を魅力ある学びの場へと変え、今では全国・海外からも志願者が集まる学校へと生まれ変わっているそうです。研修会最後のプログラムでは、「わが県の小ネタ集」として5県のクラブアドバイザーから、企業や大学との連携事業や低迷期を乗り越えたクラブの事例、災害時のクラブの取組などの紹介がされました。山口県からは、今年度県内7地域で実施している地域フェスタの取組について紹介をさせていただきました。



2日間でいろいろな話を聞くことができ、とても内容の充実した研修会でした。また、島根県の2クラブによる太極拳やダンス、マジックショーの発表、JAとのコラボ企画で金芽米のおむすびをいただくなど、心温まるおもてなしが用意されていました。

中国ブロッククラブネットワークアクション2019(予定)

期日：2019年11月2日(日)・3日(土)

会場：岡山県 環太平洋大学駅前キャンパス

ぜひご参加ください！！



# 山口県連絡協議会 理事会のご報告

12月3日（月）に、山口県連絡協議会理事会が開催されました。

議事（1）山口県連絡協議会の会費について

（2）日本スポーツ協会関係について

- ・「都道府県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会現状把握調査」について
- ・スポーツ振興くじ助成金「総合型地域スポーツクラブ活動助成」の見直しについて
- ・「総合型地域スポーツクラブの登録・認証制度」について

（3）地域連絡協議会・地域スポーツフェスタについて


（4）役員の改選について

会費については、40クラブから計120,000円が納入されました。また、今年度、県のスポーツカーニバルを実施した長門市連絡協議会から10,000円の寄付があり、山口県連絡協議会の資金は、前年度繰越分と合わせて、269,352円となったことが事務局から報告されました。

登録・認証制度については、未確定の部分が多く、（公財）日本スポーツ協会等の今後の動向を見ながら、山口県連絡協議会でも検討していくこととなりました。

その他、理事から、それぞれの地域の連絡協議会の状況やスポーツフェスタの実施報告等がありました。

## 総合型地域スポーツクラブ 訪問日記

クラブ名	訪問日	訪問者
コミュニティスポーツクラブあとう	平成30年12月8日（土）	岡村 睦美
<p>今回は、スポーツ指導者等派遣事業を活用して実施されたコミュニティスポーツクラブあとう主催の「プロ野球OBによる野球教室」に伺いました。講師に正田耕三氏を迎え、小中学生を対象に開催されました。</p> <p>正田氏は現役時代、広島東洋カープの二塁手で、首位打者やベストナイン、盗塁王やゴールデングラブ賞など、俊足堅打のスイッチヒッターとして活躍されていました。現在は、韓国のKIAタイガースの1軍打撃コーチとして活躍されています。</p> <p>当日の阿東地域はとても寒く、はじめはグラウンドで実施しておりましたが、吹雪となり途中で体育館へ移動することとなりました。しかし、そのような素晴らしい指導者に直接指導をしてもらえるということで、子どもたちには寒さなど関係なく、キラキラとした目で正田氏の話聞き、一生懸命取り組んでいました。最後に正田氏から、「毎年成長を見ることができ、阿東に来ることを楽しみにしている。確実に昨年よりも成長している。練習は厳しいこともたくさんあるが、楽しんでほしい。」との話がありました。このような機会は、子どもたちにとって一生の思い出となることでしょう。</p>		

### ほっとニュース

今年度から、クラブ同士の連携を深め、クラブの活性化を図るために、地域連絡協議会を組織し、スポーツフェスタを開催しています。これから実施されるスポーツフェスタを紹介します。

柳井地域「花岡正敬講演会」 平成31年1月27日（日） アクティブ柳井



## 人がつながる 人でつながる 人がつくる

総合型地域スポーツクラブが量より質の転換を求められています。地域に根ざしたクラブの経営や活動を支えるのは人… このコーナーでは、スポーツコンシェルジュがインタビューをして、人を紹介していきます。

### SAスポーツクラブ 理事長 藤川 佳久氏

柳井市で活動しているSAスポーツクラブの理事長である藤川氏にお話を伺いました。SAスポーツクラブというクラブ名は、“Sports for All” という言葉の頭文字をとり、命名されました。

#### クラブ設立のきっかけは？

平成7年に「24時間テレビ愛は地球を救う・サザンセトマリフェスタ」（2日間で24,000人参加、メイン事業として24時間ビーチバレーフェスティバルの実施、450人のボランティアスタッフ）を開催しました。そのイベントにおいて中心となったメンバーで、平成10年の4月に、スタッフ20名と会員10名でSAスポーツクラブは発足されました。

#### クラブの特色は？

SPORTSはdisport（気晴らし・楽しむ）からできた言葉であり、本来は「気晴らしに身体を使って何かをする」という意味がありますので、楽しくなければならぬし、それが明日への活力とならなければならぬと思います。その意味において、SAスポーツクラブは、スポーツの持つ本来の姿を「生涯スポーツ」と「競技スポーツ」の両面から追求しています。両面の活動に加え、クラブ全体で行う活動も取り入れるために、組織内団体を編成し、経営陣と指導陣の明確な役割分担をしています。そのことが、スポーツ振興になればと考えています。

また、平成17年4月から平成23年8月までの6年間、スポーツNPOである特定非営利活動法人YANAIスポーツ振興を設立し、スポーツ振興の両輪として事業展開を行いました。現在は、組織内に柳井地域スポーツ・文化まちづくり協議会を設置し、幅広い支援者・支援企業のもと、活動を展開しています。今後の新たな取り組みとしては、柳井地域の健康づくりに貢献できる施策の展開をしていきたいと考えています。



### 至誠館クラブ 会長 高屋 英人氏

11月17日に設立したばかりの至誠館クラブの会長である高屋氏にお話を伺いました。至誠館クラブは、萩市にある至誠館大学を拠点にしており、今後さまざまな展開が期待されます。

#### クラブの目的は？

大学の使命である「地域貢献」の実践の場として、住民に開かれた総合型クラブを設立し、活動を展開すること、幼児期から高齢者まで“いつでも・どこでも・いつまでも”楽しく安全にスポーツ・文化活動に親しみ、健康で潤いのある暮らしができる地域のネットワークづくりを図り、夢のある町づくりに貢献することです。

#### どんなクラブ？

昨年6月に準備委員会を立ち上げ、地域住民・行政・大学関係者が集まり、設立に向けて協議してきました。このクラブは大学が拠点ですので、施設はとても恵まれており、クラブハウスも大学内にあります。現在、幼児体操教室やキッズ・シニアイングリッシュなどいくつかのプログラムを実施しており、講師として大学の先生にも関わっていただいています。イベントとしては、アーチェリー体験会や柔道教室を実施し、今後これらも定期的な教室のひとつにしていければと思います。また、地域に眠っている指導者を発掘し、地域の指導者による教室も実施していけたらと考えています。

#### 今後どのようなクラブにしていきたいですか？

大学は、地域住民にとって敷居が高いようで、あまり行くことがない場所で、大学のことを知らない人も多くおられます。もっと地域住民が大学やクラブハウスへ気軽に立ち寄れる場にしていきたいです。大学の食堂や図書館、散歩に気軽に訪れることができるような雰囲気をつくりたいですね。

クラブのプログラムについては、設立したばかりで多くはないですが、これからいろいろと展開していく予定です。地域・行政・大学が一体となり、多様なプログラムを提供していくことで、萩市の活性化や地域のネットワークづくりに取り組み、大学を拠点とした総合型クラブとして発展させたいです。



### 【生涯スポーツ推進センター問い合わせ先】

中央生涯スポーツ推進センター(山口県体育協会) TEL 083-933-4697  
FAX 083-933-4699